

# 三菱商事株式会社

## ブルネイにおけるAI活用型オンデマンド乗合交通サービス実証事業



### 本事業の目的

慢性的な交通渋滞や駐車場不足に陥っている都心部での交通課題の解決を目的に、ブルネイで初となるAI活用型オンデマンド乗合交通の実証運行を実施。ブルネイで唯一のライドヘイリングスタートアップであるDart Logistics Sdn. Bhd. (以下、Dart社) と協業関係を構築、オンデマンド乗合交通の導入にあたっての法制度面での成立性確認、利用者・運行者視点での受容性・有用性検証を行った。

### 現地企業や政府との協力・連携

**現地企業Dart社：**  
2017年に設立されて以降、ライドヘイリング事業を中心に、学校送迎、物流事業等にサービスを拡張中。本実証の遂行においては、Dart社自身が運行事業者の立ち位置を取り、運行管理・車両手配・ドライバー手配・マーケティング活動を担当。

**ブルネイ政府：**  
オンデマンド乗合交通サービスの導入によるブルネイ社会への貢献可能性から、同サービスの立ち上げにあたり、法制度の面からアドバイス・後押し頂いた。

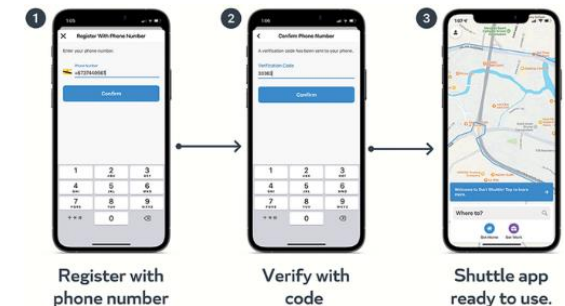
### 現地の経済・社会課題

ブルネイは鉄道網が整備されておらず、路線バスのサービス水準も低いことから、国民の移動は自家用車に依存。都心部の慢性的な交通渋滞や駐車場不足が社会課題となっている。これに対し、複数の乗客を効率的に乗り合わせながら運行を行う、オンデマンド乗合交通サービスを展開することで、自家用車移動の代替交通手段を提供、各種交通課題の解決やブルネイ政府が進めるデジタルイノベーションの促進に貢献していく。

新交通サービスの利用普及/定着には市場への理解を深め、適切な認知度向上施策/サービス改善を重ねる事が不可欠であり、実証事業の推進にあたっては、既存サービスにて多くの移動客を抱えるDart社と協業、Dart Smart Shuttle(以下、DSS)の名称で展開し、現地のニーズに合ったサービスの作り込みを目指した。

将来的には、同サービスが、ブルネイの新たな公共交通として普及/浸透していくことに期待。

### 【Apps ロゴと初回登録画面】





# 三菱商事株式会社

## ブルネイにおけるAI活用型オンデマンド乗合交通サービス実証事業

### 実証した内容

日本での運行経験をもとに、実証運行エリアの特定・乗降地設定、運行開始の準備を行い、人口の集中する首都中心部にて運行をスタート。政府官庁街・オフィス街にも運行エリアを拡張しながら、アプリ登録・乗車データ、お客様の声を分析し、以下のニーズを確認した。

1. 移動目的地近辺駐車場の混雑を避けて遠方に駐車した際の、駐車場から目的地までの「パーク&ライド」利用ニーズ
2. 自家用車を持たない学生の都心部移動ニーズ
3. 運行エリア内居住者によるショッピングモールとの往復ニーズ

また、サービスの周知活動では、各種施策実行後の登録者数・乗車数推移を分析するなかで、不特定多数を対象に長期間効果の続くオンライン告知と、イベント直後に登録者数が伸び利用にも繋がるオフラインイベントとを並行して連続的に実施していく重要性を確認した。



【Grand Launchセレモニー時の様子】

### 事業の成果/今後の予定

継続的な利用分析/利用促進策検討を行う中で、アプリ登録者数は実証期間中に26百名にまで伸張。足元で、更なる利用拡大に向けた協議をDart社と継続している。自家用車での移動が前提のブルネイ人の行動変容を促していくには、ある程度時間を要するものと想定され、運賃設定・エリア/乗降地設定・認知度向上・サービス改善等、多面的な観点からDart社と利用促進策を継続協議していく。

弊社とDart社は当該実証事業終了後もオンデマンド乗合交通サービスを継続し、ブルネイでの事業性検証を進めていく。

### 【運行内容概要と運行車両】

